

# 市長所信表明について問う

## 酒永 光志 議員

### 答 「島の恵み」の振興や改革に 果敢に取り組み



**酒永** 「しごと」の創出を図るための具体的考えは。

**市長** 市長は就任に当たり所信を表明された。その中で次の点について問う。

生産力の低下した漁場や担い手不足、大規模産地に押されがちな花卉栽培等の活性化の考えは。

**市長** 現在、策定中の第2期江田島市水産振興ビジョン及び江田島市農業振興ビジョンの基本方針のもとに地域の宝である「島の恵み」の振興を進めます。

**市長** 現在、公園等の管理・活用計画を作成しています。子どもたちが楽しく遊べる公園を整備す

**酒永** 市内各所にある児童公園の再整備の考えは。

**市長** 現在、公園等の管理・活用計画を作成しています。子どもたちが楽しく遊べる公園を整備す

**酒永** 徹底した行財政改革の推進についての所信は。

**市長** 過疎対策事業債やふるさと納税を活用できる仕組みづくりを進めてまいります。

**酒永** 市民懇談会や行政懇談会を実施する考えは。

**市長** 自治会やまちづくり協議会、女性会をはじめ各団体から要請がありましたら、積極的に議論の場へ赴き、さまざまな方と前向きな議論を重ね



▲出漁を待つ漁船  
(沖美町三高港)

その他に酒永議員は、既存企業に対する支援策、公共事業の積極的な増加策、第2次江田島市定員適正化計画の矛盾点等についていただきました。



### 答 より一層の財政健全化が必要

## 中下 修司 議員

# 本市の財政状況の評価は

**中下** 昨年5月に作成された第2次江田島市財政計画では、来年度以降は毎年財源不足が見込まれているが、本市の財政状況をどのように評価しているのか。財政計画による平成27年度の歳入は約150億円に対し、5年後には約132億円と18億円の減少が見込まれている。来年度から始まる合併特別加算措置の縮減に加え、人口減少から波及する市税の減少が主因である。

**市長** 4町合併からこれまでの財政健全化の取り組み、また国の地方財政への一定の配慮などもあり収支は改善し、基金残高の増加や市債残高の着実な減少、公債費比率など財政指標の改善がみられています。

しかしながら、今後、国の地方財政に対する考え方や制度改革など、地方を取り巻く環境が厳しくなることも予想されることから、より一層の財政健全化の取り組みが必要であると考えています。

**中下** 財政健全化に関連して、市長の選挙公約の一つである「徹底した行財政改革の推進」とは何を重点に置いているのか。確実に続く人口減少と少子高齢化社会及び財政の縮小に対し、行財政改革は先延ばしはできないと思う。また、行財政改革はどの市町でも熱心に取り組んでいることだが、単に他の市町との比較ではなく江田島市の実態を基に独自の発想で取り組むべきであると考えているかがか。

以上の重点取り組み項目の中におきましても、研修の充実による市職員の意識改革や公共施設の再編・整備に伴う未利用地の活用、近隣市町との広域連携には、さらに力を入れていきたいと考えています。



## 山本 一也 議員

### 答 3つのテーマを掲げ、市民に約束を

# 市長所信表明について問う

**山本** 「仕事の創出」「子育てしやすい環境づくり」「健康寿命の延伸」は公約か。

**市長** 江田島市の将来を見据えたまちづくりのたのめ重点的なテーマとして掲げたもので、市民の皆様にお約束するものです。

**山本** 1次産業のブランド化や6次産業化、観光産業の活性化や企業誘致の促進のための具体的な構想はあるのか。

**市長** 第2次江田島市総合計画を基に、現在策定中の江田島市農業振興ビジョンおよび第2期江田島市水産振興ビジョンで具体的に明示してまいります。その中で、生産者や

農協、漁協、商工会などの多様な主体が連携した6次産業化やその連携のための方策を記載していきたいと思えます。観光産業の活性化については、年明けには、カキ生産者の青年部が主体となり、江田島町小用で、かき小屋を開店する予定です。本市の潜在的な魅力を開き、それらを活用した「しごと」づくりにつなげてまいります。

**山本** 「健康寿命も平均年齢も日本一」の目標値や計画はあるのか。

**市長** 日本一を目指して、市民一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組める環境と生活の質の向上と健康寿命の延伸を図ってまいります。

**山本** 「施策を判断する基準」と行政職員の役割についてトップダウン方式かボトムアップ方式か。

**市長** どちらも長所と短所があり、うまく機能するには職場の風通しがよく、トップと職員の意思疎通がスムーズであるこ

**山本** 「地方創生」「中山間地域振興計画」をどのように活用するか。

**市長** 本市としては、市総合計画で掲げた戦略である「市民満足度の向上」および「交流人口の増加」、また重点テーマである「縁」による地方創生という、市としての方向性を持ったうえで、これらの取り組みを活用しつつ、まちづくりを進めてまいります。